



園芸作物栽培についての

これからの対策と Q&A

5月は夏野菜定植の最盛期です。苗半作と言われるように野菜作りで重要なポイントとなりますので購入する際、以下の事に気を付けて苗を選んでください。

- ① 本葉が大体6枚以下である。
- ② 花が咲いていない（トマトは除く）。
- ③ 鉢底から根が多く出していない。
- ④ 茎葉や下葉に黄化や斑点が出ていない。
- ⑤ 接ぎ木の場合、台木が穂木よりも細くない。

○5月に播種できる作物

ホウレン草……ほぼ周年栽培可能ですが、時期に合った品種を蒔く事。  
ネギ……基本的に5月上旬までに蒔く事。  
スイートコーン……5月中旬まで。初期生育を良くする為に、マルチ栽培は効果大。  
枝豆……5月中旬まで。この時期より遅れると需要期を逃す。本葉6枚で摘芯。

インゲン……5月中旬まで。このあたりは棚が必要ですが収穫期が長い。  
里芋……5月上旬までに植付け。

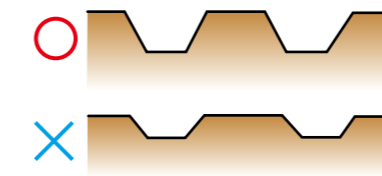
さつまいも……5月上旬まで。晴天が続く場合は根が付くまで灌水。  
大根、人参……基本的に3〜4月ですが、品種によっては5月上旬まで可能。

○圃場環境の整備

作物を栽培するにあたって栽培環境を整えておくことは成長しやすだけでなく、今後の管理もしやすくなるのでとても重要です。

- ① 継続的な堆肥の投入
  - ・土の団粒化により通気性、通排水、保肥力の増加。
  - ・微生物の増加で、作物に影響のある菌の増殖を抑える。
- ※堆肥を使用する際の注意点
  - ・完熟していない堆肥を使用すると、害虫やガスが発生して根が傷むので臭いの強い堆肥は使用しない。
- ② 排水対策
  - ・必要以上の水分は作物に悪影響。溝を掘るだけでなく、畝を高くする。

排水対策



- ③ 肥料
  - ・肥料には基肥向け肥料（緩効性）と追肥向け肥料（速効性）があります。用途に応じた肥料を使用してください。生育が悪いからと追肥を大量に使用する方がいますが、逆効果です。生育が悪い場合は、排水対策をとった上で、水をやりながら経過をみましょう。
- 植付けの注意点
  - ① 植付けは基本的に午前中に行う。
  - ② 風で揺すられるので、添え木等で固定する。
  - ③ 鉢土と植穴との隙間ができない様に軽く株元を押さえる。
  - ④ 植付け後の灌水は15℃以上の水をやる。なるべく汲み置きした水をやる。
- 作物ごとの植栽間隔を守る
  - ・密植栽培の場合、日光が十分に当たらず徒長しやすく、風通りが悪い為、病害虫被害が増える。
- 定植後の管理
  - ① 定植後、風に晒されないよう風よけ対策を行う。
  - ② ウリ科のつる性の野菜は品目により異なりますが、基本的に本葉6〜8枚で摘芯を行い、よじるとの伸長を促す。また、40cm位になったら敷きわらをして安定させる。
  - ③ トマトやナスは30cm位で支柱を立てて誘引を行う。

○ニンニクのさび病

近年、非常に問合せが多いのがニンニクのさび病です。4月下旬から蔓延してきます。さび病は進行が早く、防除の難しい病気です。発生しやすい条件は以下の通りです。

- ① 圃場に湿り気が多い。（排水不良や密植栽培）
- ② 肥料が効きすぎている。
- ③ 逆に肥料が少なく、生育が弱い。

以上の場合に激発しやすいので注意してください。予防としてダニール1000に展着剤を加えて早めに散布してください。



ニンニクのさび病

◎酸性に強い野菜・弱い野菜



	酸性に強い	酸性にやや強い	酸性にやや弱い	酸性に弱い
野菜の名前	ジャガイモ など	インゲン カブ カボチャ サトイモ ダイコン トウモロコシ パセリ サツマイモ など	イチゴ ブロッコリー カリフラワー キュウリ コマツナ スイカ セロリ ソラマメ エダマメ ナス ニンジン ネギ メロン など	アスパラガス エンドウ キャベツ ゴボウ ショウガ タマネギ チンゲンサイ トマト ハクサイ ピーマン ホウレンソウ レタス など

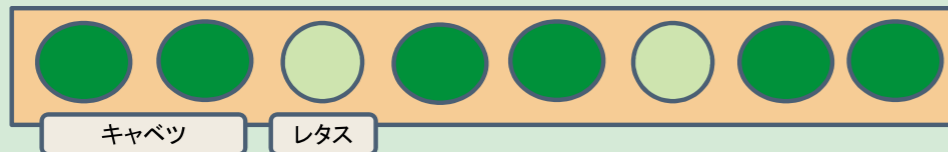
※一般的には、酸性に強い作物を栽培するときは消石灰0〜40g/m<sup>2</sup>、酸性に弱い作物を栽培するときは消石灰80〜120g/m<sup>2</sup>を施します。

コンパニオンプランツを利用しましょう

植物（野菜）には相性の良い組み合わせがあり（逆の場合もありますが）、その関係を上手に使うことで、病気や害虫を防いだり収量を増やすことができます。お互いが協力し助け合う関係やその植物は『コンパニオンプランツ』と呼ばれ、畑の環境を改善する効果が注目されています。ここでは、家庭菜園でよく栽培される野菜同士の組み合わせをご紹介します。

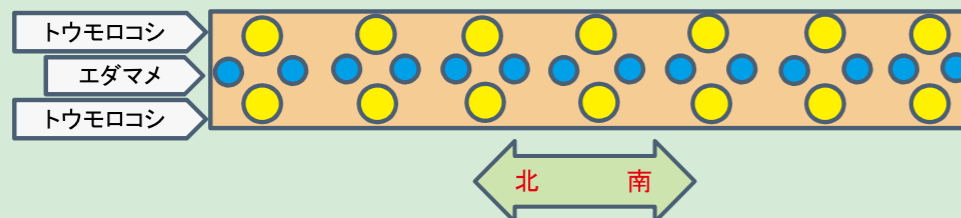
●キャベツ（アブラナ科）&レタス（キク科）

効果…アオムシ、コナガ、タバコガを寄せ付けない  
 注意点…ヨトウムシには効果が無いので、発生を確認したら薬剤を散布する  
 元肥や追肥を少し多めにする（どちらも肥料食いのため）  
 玉レタスよりサニーレタスやサンチュの方が効果が高い  
 キャベツ2〜3株にレタス1株の割合で植える



●トウモロコシ（イネ科）&エダマメ（マメ科）

効果…アワノメイガ、カメムシを寄せ付けない  
 土壌中の窒素を増やし、リン酸などの吸収を助ける  
 雑草の発生を抑える  
 注意点…畝はトウモロコシに日を当てるため、南北方向にする  
 エダマメは中生〜晩生の品種を選ぶ  
 トウモロコシ2条の間にエダマメ1条を植える



お問合せ先  
 東部ふれあいセンター内営農生活課  
 TEL.0778-51-8004

バックナンバーはJAたんなんホームページ  
<http://ja.tannan.com/> 広報誌をご覧ください。